



## 共に「自ら」を育み合う 同じ地平に立って

沼津市青少年健全育成地域相談員総括 内田卓雄

保護司になって10年になろうとしている。青少年地域相談員制度は「教育」の制度であり活動だ。保護司は法務省の非常勤の国家公務員（人事院指令14-3）で、無報酬。いわばボランティア。私自身は、校長であったから、校長職で至らなかった部分を埋めているような気分がある。だが、保護司としての私の「窓」は教育ではなく法務。明るい社会からのアプローチである。

先般、対象者であったA君から突然電話が入った。刑務所を出所し、母親とも良好な関係になって働いている、その報告とお礼だという。彼は、保護観察中に事件を起こし市外の某署に留置。その署員から彼が私に面会を求めていると連絡があり、出かけた。署の面会室の亚克力板は通声穴がコロナ感染防止のために塞がれ、会話は署員立ち会いの下でマイク越し。彼は言う。姉が来てくれました、中学校の先生も来てくれました、と。母親との折り合いが悪く、経済的にも困窮し、犯罪に走ったのが初犯で、私との出会いはその後だった。人が過ちを犯すのは本人に起因することだけに限らない。人を取り巻く様々な要因がそこには潜んでいる。A君には初犯後に雇用して自宅に住ませ面倒を見た人がいたし、新聞で事件を知って早速に面会に行った中学校時代の担任もいた。A君は、自分を包み込んでくれる人たちの存在に気づき、また、母親も彼の受容者になった。もう二度と犯罪に走ることはない。私は、そう信じている。

B君も忘れがたい。保護観察中に、B君は大麻所持が見つかり逮捕。成人になったばかりのことだった。その取り調べの中で、彼は私に申し訳ないと涙を流し、私ももらい泣きしましたと担当刑事。保護観察が終わってほぼ2年後、海外でいろいろ学んできましたとB君は我が家にやってきた。彼には共に涙を流してくれる刑事との出会いがあった。いい人に出会ったものだ。

特段、私が何かをしたのではない。一人の人間として面接の時間にその会話を楽しむ。それが、私の保護面接。問題行動に走る子供たちに関わり続けていたMさんが仰った。「どの子も寂しいのです。」Mさんのこの言葉をずっと私は心に置いた。人は一人で生きてはいない。保護観察の対象者にも、彼らを取り巻く人がいて、その人間関係の中に身を置いている。その関係が一つでもゆがむと間違いは起きる。人は誰でも寂しく、弱く、脆い。だからこそ、同じ地平に立ち、よりよく生きようとする「自ら」を共に育み合うしかない。対策や賞罰、指導だけでは更生も明るい社会も創れない。麗しき誤解でいい。それは青少年の健全育成も同じと悟ったのであった。

# わたしの主張(1)

「わたしの主張2021静岡県大会」において入選したお二人の作品を紹介します。

## 一人一人の気持ち

沼津市立金岡中学校 3年 野村 菜々子

「ペットボトルキャップなんて集めてどうするんだよ。」

福祉委員の私がペットボトルキャップを持ってこようと呼びかけをしていると、そんな声が聞こえてきました。

中学1年生の後期、私は福祉委員会に入りました。理由はただ仲の良い先輩が福祉委員長をやりたいと言っていたのを思い出しただけで、特に福祉委員会に入りたかったわけではありませんでした。

しかし、この出来事が私の考え方を大きく変えました。それまで私は、(なんでペットボトルキャップなんて持ってこなきゃいけないんだよ。)

そう思っていました。そのため、福祉委員となったことをきっかけに、ペットボトルキャップを集める目的を調べてみることにしました。すると、ペットボトルキャップを一般のごみと混ぜると焼却処分されてしまい、地球温暖化の原因である二酸化炭素の発生源になってしまうことや、埋め立て処分されると、土壌を汚染し地球環境を破壊してしまうことを知りました。また、ペットボトルキャップの売却益で世界中の子供たちにワクチンを届けられるということも知りました。私はペットボトルキャップを集めるという少しの努力で環境を良くすることや、たくさんの命を救えるということを知り、とても衝撃を受けました。そして、たくさんの人にも知ってほしいと思いました。

それから私は、福祉委員の仕事を頑張るようになりました。特に呼びかけを積極的に行いました。しかし、その呼びかけに応えてくれない人もいました。きっと昔の私のような考えをしているのでしょう。そこで実際に私もそうだったように、ペットボトルキャップを集めることの良さを知れば、持ってきてくれるのではないかと思いました。私はどうやったらみんなにペットボトルキャップ回収の良さを伝えられるのかを考えました。そこで思いついたのが、私が次の福祉委員長となり、ペットボトルキャップを集めることで地球環境が良くなることを伝える、ということでした。委員長になればクラスの中だけでなく、学校全体に良さを広められると思いました。

2年生の冬。私は福祉委員長に立候補しました。私の他にも4人立候補していて、委員長になれるか不安でいっぱいでした。しかし、福祉委員長への熱量は自分が一番という自信はありました。私たちの学校では、専門委員長は生徒会との面接によって決まります。面接では自分がどれだけ委員長になりたいか、その気持ちを一生懸命伝えました。そして、私は福祉委員長になることができました。担任の先生に面接が良かったと聞いたときはとても嬉しかったです。

しかし、それだけで満足するのではなく、これからどうするのが一番肝心です。今年度初めてのペットボトルキャップ回収では回収率があまり高くない、もっと委員長として頑張らなければならないと思いました。

ボランティア活動に参加することが悪いことだと言う人は少ないでしょう。むしろ良いことです。みんな嬉しい気持ちになり、心が洗われすっきりします。ボランティア活動に参加することは国境を越え世界の平和に繋がることもあります。私の学校では、ペットボトルキャップ回収と一緒にアルミ缶回収も行っています。回収したアルミ缶はお金に換えられ、毎年福祉施設に贈呈品を送っています。贈呈品を渡した時、みなさんに喜んでもらい、今まで福祉委員をやってきてよかったなと思いました。

しかし、「何から始めれば良いのか分からない」という人もたくさんいるでしょう。そんな時はまず身近なことから始めてみたらどうでしょうか。道にあるごみを拾う、近くの公園の草取りをする、使わなくなった物を貧しい人に寄付するなど、出来ることはたくさんあります。もちろん、ペットボトルキャップを持ってこることもその一つです。ペットボトルキャップを持ってこる。ただそれだけで環境が良くなり、たくさんの命が救えます。一人一人の気持ち次第で世の中が変わるかもしれないのです。私はボランティアの素晴らしさをたくさんの人に伝えられるよう、福祉委員長の仕事を全力で頑張ろうと思います。そして、たくさんの方がボランティア活動に興味を持ってくれることを願っています。

# わたしの主張(2)

## 凛と立つ

沼津市立今沢中学校 3年 村上 葉月

「所作」という言葉を初めて聞いたのは、年長の夏休みに姉と行った着物着付け教室。髪を後ろでまとめ、背筋をピンと伸ばした着物姿の少し怖そうな先生が、正座をする私たちを前に、「まだ幼いと言っても、あなたたちは立派な女性です。所作は内面から出る美しさに磨きをかけてくれます。」とおっしゃった。教室では着付けの他、お茶のいただき方や口の拭き方、靴の脱ぎ方や揃え方、お箸の使い方やお辞儀の仕方などたくさんのことを教わった。教室に通っている間は、教わったことを母に見せることで覚えていたけれど、今となっては、まだ幼い自分が立派な女性だと言われたことや先生の凛とした着物姿の記憶しかない。

今の時代、その人らしさを大切にするのに、男と女だった二つの性別で分けられてしまうことに苦しさをを感じる人も少なくないようで、それはそれで一つの考えだと理解できるし、私も「らしさ」を大切にすることに大いに同感できる。その上で、今、私が大切にしたいと思うのは「女性らしさ」だ。日本のあちこちで男子はズボン、女子はスカートの原則を見直す学校も増えていて、私たちの地域の高校でも「第三のデザイン」と呼ばれる制服や女子生徒に学ランを許可している学校もある。少し前にスカートをはいて通学する県外の男子高校生の番組を見た。自由といっても、その学校でスカートをはいた男子生徒は一人だけ。「すれ違ったとき、奇異な目で見られているなど感じます。」と言いながらも、自分のスタンスを変える様子が一切見られない毅然とした姿が印象的だった。私たち思春期と言われる年頃は、自分らしさを多少我慢してでも、多数派に所属したいと考える人が多いと思う。周りとは違ったことをする少数派の子は「変わった子」にされる。「変わった子」だと言われたくなくて自分らしさを抑えている子は少なくないはずだ。そして私もその一人。

テニス部の部長を務める私は、冬場の練習で今まで三周だったランニングを五周に増やした。冬の練習は体を温めてから活動することで、その後の練習の成果が上がると思ったからだ。しかし、周数を増やすのはきついと反対する部員が出た。自分としては必要な練習だと考えてのことだったが、反対の意見が出たこと

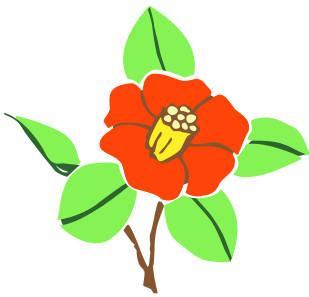
でランニングはなんとなく三周に戻った。その日はモヤモヤした気持ちのまま練習を続けた。そんな私に友人が、

「自分が正しいと思うのなら、しっかり伝えな。周りの声ばかり聞いていたら葉月、壊れるよ。」と、声をかけてくれた。背中を押された気分だった。それと同時に自分の考えを伝えることを放棄した自分を情けなく思った。

私には自分の考えに自信があっても、それを押し通す強さはない。たくさんの良い考えを聞けば簡単に自分の考えが揺らいでしまうこともある。自分らしさを貫くこととワガママを言うことが紙一重な気がしてとても難しい。周囲の目や反応を気にして、言いたいことの半分も言えない弱い自分がかかりするときもある。そんなときは、決まって先生の凛とした姿を思い出す。柔らかい仕草なのに格好いいと思ってしまう不思議な感覚。厳しさの中にも感じる誠実や信用。つい見惚れてしまうような立ち振る舞いや、指先にまで出る美しさ。

人それぞれ「自分らしさ」は違う。少数派の考えは「変わった子の考え」ではなく、それも「その人らしさ」なのだと思えるのはそれほど難しいことではない。それぞれが持つ「らしさ」は大切な個性。周りの目など気にしない自分でいたいと思うと同時に、気にさせてしまうような目にもなりたくないと思う。女性らしさの正解は分からないが、その根底には内面があるのだと思う。自分の意見を持ち、嫌われることを恐れず、自分に自信を持っていることが、美しい所作に繋がるのではないだろうか。内面から出る美しさが、学びや意識から出るものだとすれば、今の私にはまだ足りないものばかりだ。しかし、私には学ぶ意欲も、環境が変わるチャンスも、そして、足りないものを補うには十分すぎる時間もある。女性らしさを身に付けるのにあと何年かかるか分からないが、たくさんの時間をかけて失敗から学んだり、色々な人を知ったり、自信につながる経験を重ねたりしながら自分を磨いていきたい。そして、いつの日か今の弱い自分を笑い飛ばせるような凛と立つ素敵な女性になりたい。

# 面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など  
 青少年に関する面接相談。  
 ◎相談および申し込み受付時間：  
 午前9時～午後5時 月～金曜日（祝日を除く）  
 ◎相談申し込み：TEL 951-3440

## 令和3年10・11・12月の状況

各月の新規相談件数、相談ケース数、延べ相談回数は以下のとおりでした。

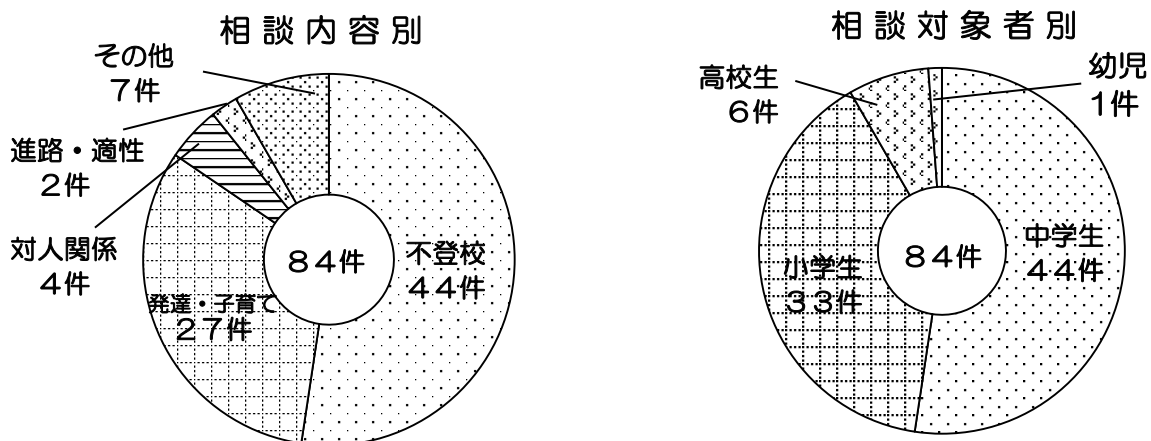
### 1 各月の新規相談件数（相談内容別）

	非 行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合 計
10月	0	5	8	0	0	1	14
11月	0	6	4	0	0	1	11
12月	0	5	2	0	0	2	9

### 2 各月の新規相談件数（相談対象者別）

	幼 児	小学生	中学生	高校生	少 年	一般成人	合 計
10月	1	7	5	1	0	0	14
11月	0	6	4	1	0	0	11
12月	0	5	3	1	0	0	9

### 3 4月から12月までの新規相談受付状況



#### 4 4月から12月までの相談ケース数※年度における相談者1人を相談1ケースとする

	非行	不登校	離・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
男	0	46	33	0	2	2	83
女	0	41	8	2	5	5	61
合計	0	87	41	2	7	7	144

#### 5 4月から12月までの延べ相談回数

	面接	訪問	合計
男	1,082	0	1,082
女	571	0	571
合計	1,653	0	1,653

#### 6 はばたき活動の様子

- 10/5(火) チャレンジランキング2021(4人)
- 10/20(水) 市道公園で遊ぼう(11人)
- 11/10(水) ボッチャに挑戦(8人)
- 11/24(水) 買い物ツアーに出かけよう(9人)
- 12/2(木) クリスマスリース作り(14人)
- 12/15(水) モンミュゼ沼津見学(12人)

「チャレンジランキング2021」では、子供たちは、5種類の競技に挑戦しました。みんなで関わりながら、まるでセンターの運動会のような楽しい時間を過ごすことができました。

「ボッチャに挑戦」では、チームで仲良く声をかけ合ったり、拍手をしたりしながら、プレーをしていました。

「モンミュゼ沼津見学」では、美術作品を鑑賞したり、パイプオルガンを演奏したりして、芸術の楽しさを感じることができました。

子供たちは、はばたき活動で、それぞれの個性を発揮しています。また、約束を意識したり、話し手の方をしっかりと見て聞いたりする姿勢が育っていると感じました。

#### 7 相談指導学級の様子

日を追うごとに、長期にわたって学校を休む児童生徒数が増加しています。そうした中、通級している子供たちは、相談指導学級で自主学習に取り組んだり、体験活動に参加したりして生活のリズムを整えようと努力を重ねています。特に学習の遅れを気にしている子供たちが多く、算数・数学の計算問題を解いたり、漢字練習を行ったり、自分で用意した問題集に取り組んだりしています。自分だけで解けない問題については学級担当に積極的に質問するなどしながら、どの子ども真剣に学習と向き合っています。今年度は、学校から配付されたPC(Chromebook)を持参し、学校の授業などの配信を視聴している姿も見られるようになりました。

相談指導学級では子供同士の関わりが生まれるように、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら、体験活動としてウォーキングや創作活動も実施しています。12月には、千本浜までみんなで歩いたり、クリスマスカードを学習室で作ったりする活動を行いました。活動の中で、子供同士の楽しい会話が生まれていました。

3学期は1月6日(木)から3月18日(金)までの49日間です。特に、中学3年生にとって



【御浜岬(鳥居と海と富士山)】

は進路決定の大切な時期になります。引き続き児童生徒一人一人に寄り添いながら支援していきます。

# 電話相談

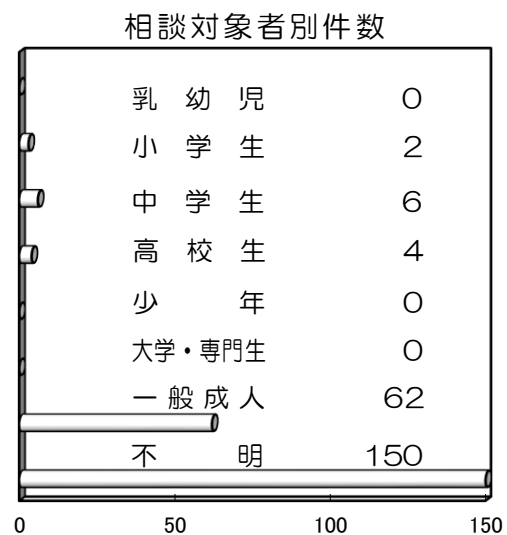
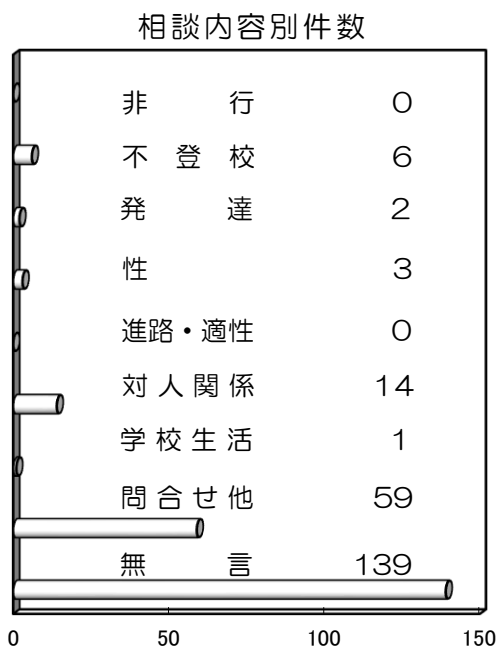


◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。  
 ◎相談時間：  
 午前10時～午後7時 月～金曜日(祝日を除く)  
 ◎愛称：やまびこ電話 951-7330

## 令和3年10・11・12月の状況

10月には138件、11月には55件、12月には31件の相談が寄せられました。  
 (前年10月：210件、前年11月：168件、前年12月：97件)

### 1 10・11・12月の相談状況



### 2 令和3年度の電話相談受信件数状況

総件数 853件 (前年同期2,372件)



#### (1) 相談内容別

	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言
件数	0	10	7	10	0	39	12	336	439

#### (2) 相談対象者別

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学・専門生	一般成人	不明
件数	0	16	14	7	0	1	357	458

# 補導状況

## 1 10～12月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

県からの依頼を受け、12月に青少年を取り巻く社会環境実態調査及び県内一斉冬季少年補導を実施しました。御協力ありがとうございました。相変わらず夜に外出する青少年の数は少ないものの、学校帰りにゲームセンターやプリクラに入る高校生がかなり増えたというのが目立った状況でした。

学 職 別 区 分		性別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	四月からの 累計の
行 為 種 別	飲 酒	男							0	0
		女							0	0
	喫 煙	男							0	0
		女							0	0
	薬 物 乱 用	男							0	0
		女							0	0
	夜 間 は い か い	男							0	0
		女							0	0
	不 良 交 友	男							0	0
		女							0	0
	怠 学 ・ 怠 業	男							0	0
		女							0	0
	ゲームセンター入場	男		3	49				52	111
		女		12	122				134	198
	パチンコ店入場	男							0	0
		女							0	0
	カラオケ店入場	男							0	3
		女		2					2	2
自転車の暴走行為	男			2	2			4	4	
	女							0	0	
自転車の二人乗り	男							0	0	
	女							0	0	
自転車の無灯火	男			4			2	6	9	
	女		2					2	2	
危険な遊び	男		1					1	1	
	女							0	0	
そ の 他	男							0	3	
	女			1				1	2	
計		男	0	4	55	2	2	0	63	131
		女	0	16	123	0	0	0	139	204
男 女 合 計			0	20	178	2	2	0	202	335

法令違反・ ぐ犯行為に 関する連絡 ※	家庭・学校等	男							0	0
		女							0	0
	他 機 関	男							0	0
		女							0	0
男 女 合 計			0	0	0	0	0	0	0	0

※ぐ犯行為……将来、犯罪に発展するおそれのある行為

愛 の 声 か け 運 動	男	173	126	39				338	574
	女	138	92	28				258	413
男 女 合 計		311	218	67	0	0	0	596	987

## 2 少年補導委員の参加人数・補導回数・補導状況（10～12月及び累計）

	参加人数						回数				状況	
	市職員	教員	補導委員	地区代表	警察	補導委員区	計	午前	午後	夜間	計	の 確認
10月	14	22	11	0	237	284	0	15	33	48	51	237
11月	11	11	15	0	275	312	0	14	35	49	58	139
12月	12	10	22	0	88	132	0	10	10	20	93	220
合計	37	43	48	0	600	728	0	39	78	117	202	596
4月から の累計	77	54	65	1	1,448	1,645	1	94	191	286	335	987

## 青少年教育センターの活動予定（2・3月の主な活動）

※天候による変更あり

相談指導学級	2月10日（木） 2月17日（木） 3月10日（木）	ウォーキング 創作活動 沼津港深海水族館の見学（はばたきと合同）
はばたき活動	2月 2日（水） 3月10日（木）	高沢公園に行こう 沼津港深海水族館の見学（学級と合同）
補導関係	2月18日（金）	補導委員会代表者会⑤

◎青少年教育センターでは、青少年に関する面接相談の受付を随時行っています。

- ・学校へ行きたがらない
- ・集団生活が苦手で、クラスになじめない
- ・交友関係など、生活面で心配
- ・子育てや子供の成長について不安 など、

お子様についての気がかりなことがありましたら、電話でお申し込みください。

\*月～金曜日（年末年始・祝日を除く）

（055-951-3440 午前9時～午後5時）

\*電話相談「やまびこ電話」においても受け付けております。

（055-951-7330 午前10時～午後7時）

◎青少年教育センター「たより」についての御意見・御感想等がございましたら、メール等でお寄せください。

メールアドレス seisyonen@city.numazu.lg.jp

